
「胸腺腫手術症例の臨床病理組織学的特徴、画像所見と治療成績についての単施設後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2002年1月1日～2022年10月31日に埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器外科を受診し、胸腺腫と診断され、外科的治療を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

[背景]

胸腺腫は、主に前縦隔に発生する低悪性度腫瘍です。“がん”とは異なり、多くの症例で緩慢な増殖形態をとり、遠隔転移を起こすことは極めてまれです。治療には、手術、放射線治療、抗がん剤治療が選択可能ですが、とくに進行した症例ではこれらの治療法をコンビネーションで用いることが治療上非常に重要です。

[目的]

本研究では、当院での胸腺腫治療例を振り返り、治療成績を検討するものです。とくに外科治療の遠隔成績、腫瘍の組織学的構築、画像検査上での腫瘍増殖速度などについての検討を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年 3月 31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

利用又は提供する試料・情報

電子カルテ内にある臨床情報、画像情報（胸部単純X線写真、胸部CT、胸部MRI、PET/CT）切除検体の病理学的所見（HE染色、EMG染色、免疫染色）を研究に用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である羽藤泰が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

胸腺腫の治療経過でカルテ等に記載のある情報を振り返って統計解析を行う研究です。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器外科

研究責任者：呼吸器外科 准教授 羽藤 泰

研究実施者：呼吸器外科 教授 河野 光智

呼吸器外科 教授 儀賀 理暁

呼吸器外科 講師 福田 祐樹

呼吸器外科 助教 井上 慶明

呼吸器外科 助教 杉山 亜斗

呼吸器外科 助教 山口 雅利

呼吸器外科 助教 鹿島田寛明

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 呼吸器外科 羽藤 泰

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

Tel：049-228-3459 (呼吸器外科医局)

平日：9:00-17:00